

分数の虫食い算①（分母が ちがう たし算・ひき算）

なまえ _____

小5／分母を そろえて □に入る 分子を 見つける 6もん

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{3}}{4} + \frac{1}{6} = \frac{11}{12}$$

やりかた 答えから もどして、□の 分数を 見つける

① 分母を そろえる。4と6の 最小公倍数は 12。 $\frac{1}{6} = \frac{2}{12}$

② もどす。 $\frac{\boxed{}}{4} = \frac{11}{12} - \frac{2}{12} = \frac{9}{12}$

③ 約分する。 $\frac{9}{12} = \frac{3}{4}$ だから □は 3

ひき算の れい（□が ひく数） $\frac{4}{5} - \frac{\boxed{}}{3} = \frac{2}{15} \rightarrow \frac{\boxed{}}{3} = \frac{12}{15} - \frac{2}{15} = \frac{10}{15} = \frac{2}{3}$ □は 2

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 数を書こう。下の わくには、分母を そろえた 式を書こう。

A たし算 分母を そろえてから、□の 分数に もどそう _____

A1 $\frac{\boxed{}}{7} + \frac{1}{4} = \frac{23}{28}$

A2 $\frac{1}{6} + \frac{\boxed{}}{8} = \frac{19}{24}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

B ひき算 □が ひかれる数なら 答え+ひく数、ひく数なら ひかれる数-答え で もどす _____

B1 $\frac{\boxed{}}{7} - \frac{1}{3} = \frac{11}{21}$

B2 $\frac{5}{6} - \frac{\boxed{}}{9} = \frac{1}{18}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

C 答えが 約分して ある 答えも そろえた 分母に なおそう _____

C1 $\frac{\boxed{}}{3} + \frac{5}{12} = \frac{3}{4}$

C2 $\frac{9}{10} - \frac{\boxed{}}{5} = \frac{1}{2}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算②（分母が □）

小5／□に入る 分母を 約分で 見つける 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

やりかた 答えから もどして、さいごまで 約分する

$$\frac{2}{\boxed{5}} + \frac{1}{6} = \frac{17}{30}$$

① 分母を そろえる。6と30（答えの 分母）の 最小公倍数は 30。 $\frac{1}{6} = \frac{5}{30}$

② もどす。 $\frac{2}{\boxed{}} = \frac{17}{30} - \frac{5}{30} = \frac{12}{30}$

③ 約分する。 $\frac{12}{30} = \frac{6}{15} = \frac{2}{5}$ 分子が 2に なったので □は 5

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 分母を 書こう。もどした 分数は さいごまで 約分しよう。

1 $\frac{3}{\boxed{}} + \frac{1}{12} = \frac{11}{24}$

2 $\frac{1}{12} + \frac{7}{\boxed{}} = \frac{31}{36}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

3 $\frac{2}{\boxed{}} - \frac{5}{8} = \frac{1}{24}$

4 $\frac{3}{4} - \frac{2}{\boxed{}} = \frac{13}{28}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

5 $\frac{3}{\boxed{}} - \frac{1}{9} = \frac{23}{36}$

6 $\frac{1}{8} + \frac{5}{\boxed{}} = \frac{23}{24}$

分母を そろえた 式

分母を そろえた 式

たしかめ：□に 数を入 入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算③（□が 2つ）

小5/2つの □を 分子の 式で しぼる 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{2}}{3} + \frac{\boxed{1}}{4} = \frac{11}{12}$$

やりかた 分子の 式を 立てて、1組に しぼる

① 分母を 12に そろえると、左の □は 4ばい、右の □は 3ばい。

② 分子の 式は $4 \times \text{左} + 3 \times \text{右} = 11$ 。左は 3より 小さい。

③ 左が 1だと 右が 整数に ならない。左が 2なら $4 \times 2 + 3 \times 1 = 11$

④ だから 左は 2、右は 1。 $\frac{2}{3} + \frac{1}{4} = \frac{11}{12}$

ひき算の れい $\frac{\square}{4} - \frac{\square}{6} = \frac{1}{12} \rightarrow$ 分子の 式は $3 \times \text{左} - 2 \times \text{右} = 1$ 。組は 左1・右1 と 左3・右4 の 2つ。

組が 2つ できたら、約分できない 形の 組を えらぶ。 $\frac{4}{6}$ は 約分できるので、答えは 左1・右1。

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

2つの □に 入る 数を書こう。どの分数も 1より 小さく、約分できない 形だよ。

1 $\frac{\square}{7} + \frac{\square}{3} = \frac{16}{21}$

分子の 式

2 $\frac{\square}{5} + \frac{\square}{7} = \frac{29}{35}$

分子の 式

3 $\frac{\square}{5} - \frac{\square}{4} = \frac{11}{20}$

分子の 式

4 $\frac{\square}{4} - \frac{\square}{9} = \frac{11}{36}$

分子の 式

5 $\frac{\square}{6} + \frac{\square}{8} = \frac{23}{24}$

分子の 式

6 $\frac{\square}{6} - \frac{\square}{9} = \frac{7}{18}$

分子の 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算④（帯分数の ひき算）

小5／帯分数の ひき算で □を もどす 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$4\frac{1}{2} - 2\frac{\boxed{8}}{9} = 1\frac{11}{18}$$

やりかた ひけない ときは、整数から 1 くり下げて もどす

① 分母を そろえる。2と9の 最小公倍数は 18。 $\frac{1}{2} = \frac{9}{18}$

② もどす。 $2\frac{\boxed{}}{9} = 4\frac{9}{18} - 1\frac{11}{18}$

③ $\frac{9}{18}$ から $\frac{11}{18}$ は ひけないので、 $4\frac{9}{18} = 3\frac{27}{18}$

④ $3\frac{27}{18} - 1\frac{11}{18} = 2\frac{16}{18} = 2\frac{8}{9}$ だから □は 8

□が ひかれる数なら 答え+ひく数で もどし、分数の 部分が 1を こえたら 整数に 1 くり上げる。

きまり ・ □には 整数が 1つ 入る ・ 帯分数の 分数の 部分は 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に入る 数を書こう。分数の 部分が ひけない ときは、整数から 1 くり下げよう。

1 $4\frac{1}{5} - 2\frac{\boxed{}}{6} = 1\frac{11}{30}$

分母を そろえた 式

2 $5\frac{1}{6} - 2\frac{\boxed{}}{8} = 2\frac{19}{24}$

分母を そろえた 式

3 $5\frac{\boxed{}}{3} - 3\frac{4}{5} = 1\frac{13}{15}$

分母を そろえた 式

4 $3\frac{1}{4} - 1\frac{\boxed{}}{9} = 1\frac{29}{36}$

分母を そろえた 式

5 $5\frac{\boxed{}}{9} - 2\frac{5}{6} = 2\frac{17}{18}$

分母を そろえた 式

6 $3\frac{2}{5} - 1\frac{\boxed{}}{7} = 1\frac{19}{35}$

分母を そろえた 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。



分数の虫食い算⑤（3つの 分数）

小5／3つの 分母を そろえて □を 見つける 6もん

なまえ _____

ひづけ _____

れい

$$\frac{\boxed{1}}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} = \frac{7}{12}$$

やりかた 3つの 分母を いったんに そろえる

① 2と3と4の 最小公倍数は 12。3つとも 12に そろえる。

② $\frac{1}{3} = \frac{4}{12}$ 、 $\frac{1}{4} = \frac{3}{12}$ 、 $\frac{\boxed{}}{2}$ は 分子が $6 \times \square$

③ 分子の 式 $6 \times \square + 4 - 3 = 7$ から $6 \times \square = 7 - 4 + 3 = 6$ 。□は 1

□の 前が -の ときは、ほかの 分子を 先に 計算して、その 数から 答えの 分子を ひく。

きまり ・□には 整数が 1つ 入る ・分数は どれも 1より 小さく、それ以上 約分できない 形

□に 入る 数を書こう。下の わくには、分子の 式を書こう。

1 $\frac{\boxed{}}{6} + \frac{1}{2} - \frac{4}{9} = \frac{8}{9}$

分子の 式

2 $\frac{3}{4} - \frac{2}{3} + \frac{\boxed{}}{9} = \frac{35}{36}$

分子の 式

3 $\frac{1}{4} + \frac{\boxed{}}{8} + \frac{1}{6} = \frac{19}{24}$

分子の 式

4 $\frac{1}{2} + \frac{4}{5} - \frac{\boxed{}}{3} = \frac{19}{30}$

分子の 式

5 $\frac{\boxed{}}{8} - \frac{1}{2} - \frac{1}{3} = \frac{1}{24}$

分子の 式

6 $\frac{1}{2} - \frac{\boxed{}}{9} + \frac{3}{4} = \frac{29}{36}$

分子の 式

たしかめ：□に 数を入れて、もとの 式を 計算しよう。

分母を そろえて 計算し、約分して 右の 答えに なれば あっている。

